

令和6年度第1回利根沼田地域保健医療対策協議会

病院等機能部会(書面開催)

次 第

令和6年6月11日

1 議題

(1) 審査方針について

【資料1】

第9次保健医療計画策定に伴い、新たに沼田保健医療圏における病院開設等に係る事前協議の審査方針を作成する必要があることから、資料のとおり提案させていただき、ご意見をいただくものです。

(令和6年3月末時点で、依然として当医療圏の既存病床(958床)は、基準病床(658床)を上回っていることから、「第8次保健医療計画」策定時に設定した「審査方針」の内容を継継し、年月等の微修正のみ行う。)

なお、本議題については、のちに開催予定の「利根沼田地域保健医療対策協議会(親会)」にて部会意見を報告させていただき、親会の審議を経て策定させていただきます。

(2) 推進地域の設定について

【資料2】

2025年に向けた地域医療構想の更なる推進を図るため、国が「推進区域・モデル推進区域」を設定し、アウトリーチの伴走支援の実施を計画しています。

・各都道府県あたり1~2箇所の「推進区域」を設定

<いずれかの事由の当てはまる地域から「推進地域」設定を検討>

- ① 合計病床数の必要量との差異が特に生じている区域
- ② 機能別病床数の必要量との差異が特に生じている区域
- ③ 再検証対象医療機関における対応状況として検証中または検証未開始の医療機関がある区域 → 県内該当なし
- ④ その他医療提供体制上の課題があつて重点的な支援の必要性があると考えられる区域

→ 当地域は該当なし

(地域をあげて大きく取り組む必要がある場合<例：公的・公立病院 等>)

「推進区域(全国)」のうち10~20箇所⇒「モデル推進地域」

※「モデル推進地域」に設定されれば、国からの技術的・財政的支援あり(メリット)

①「推進区域」に手挙げ(設定)する方向としたい

②「推進区域」に手挙げ(設定)しない方向としたい

2 報告

(1) 沼田保健医療圏の医療機能等の現況について

【資料3】

令和6年度沼田保健医療圏の医療機能等の現況を取りまとめたことから報告するものです。

※昨年度、当部会においてもお示ししましたとおり、国立病院機構沼田病院の一般病床69床が、令和6年4月1日に返還されました。これにより、4月末日時点における保健医療計画に対する過剰病床数は231床となりました。

配付資料一覧

■名簿

■資料1 沼田保健医療圏における行院の開設等に係る事前協議の審査方針(案)

■資料2 推進区域の設定について

<厚生労働省資料「推進区域(仮称)及びモデル推進区域(仮称)について資料1含む>

■資料3 令和6年度沼田保健医療圏における医療機能等の現況

利根沼田地域保健医療対策協議会病院等機能部会名簿

令和5年4月1日～令和7年3月31日

氏名	役職名	備考
林 秀彦	沼田利根医師会長	
石田 智之	沼田利根医師会副会長	
森 平和明	沼田利根医師会副会長	R6.6.1～
前村 道生	国立病院機構沼田病院長	
関原 正夫	利根中央病院長	
赤尾 法彦	沼田脳神経外科循環器科病院長	
田中 志子	(医)大誠会理事長	
國元 文生	群馬パース病院長	
櫻井 明	(医)パテラ会理事長	
丸山 秀樹	上牧温泉病院長	
生方 純也	利根沼田広域市町村圏 振興整備組合事務局長	R6.4.1～
合計	11人	